

泉北クリーンセンター新ごみ処理施設整備基本計画策定及び環境影響評価等業務
委託に係る事業者選定公募型プロポーザル審査結果について

標記の件について、優先交渉権者を決定しましたので、審査委員会の審査結果及び講評を報告します。

I 審査結果

優先交渉権者：パシフィックコンサルタンツ株式会社大阪本社

評価項目	得点
業務実績等の得点	13／15
企画提案の得点	44／55
見積価格の得点	30／30
合 計 点	87／100

II 講 評

本件については、公募型プロポーザル方式により、泉北クリーンセンター新ごみ処理施設整備基本計画策定及び環境影響評価等業務委託事業者の募集を行い、2者から応募があり、実施要領に基づき優先交渉権者としての適否を審査した。

業務実績等について、応募者はいずれも一定の実施体制と専門的知見を備えていたが、優先交渉権者は同種・同規模案件に継続的に取り組む専門組織を有し、具体的かつ実効性の高い技術者配置計画を示した点が高く評価された。

さらに、一般廃棄物処理施設整備基本計画と環境影響評価を一体的に受託し、計画策定から環境影響評価手続き完了まで一貫して支援した実績を複数有しており、本業務との関連性や規模の面で優位性が認められた。配置予定の管理技術者についても、手持ち業務数の面で他の応募者と差異が見られたものの、同種・同規模案件での豊富な実績に加え、関係機関協議や住民対応支援の経験が評価され、総合的に本業務を適切に遂行できる能力を有すると判断した。

企画提案について、各社から循環型社会の形成推進及び脱炭素社会の実現を踏まえた提案が示されたが、優先交渉権者は本組合の課題を的確に分析し、施設整備の方向性と環境影響評価手続との整合性を明確に示した点が高く評価された。実施体制においても、施設計画、環境影響評価、住民対応など多岐にわたる分野の専門技術者を適切に配置し、責任体制を明確化するとともに、類似施設に関する計画及び環境影響評価の実績を有している点が評価された。

さらに、環境影響評価手続の法定プロセスを踏まえた工程管理に加え、関係機関協議や住民説明の具体的時期を示し、事業方式検討に伴う施設規模や処理方式の見直しも想定し

たリスク対応方針を整理するなど、実現性の高い計画と認められた。加えて、基本計画や民間活力導入可能性調査、廃棄物エネルギー利活用調査、独自提案においても組合が直面している課題を分析し、その課題可決策等をより詳細に示された内容であった。プレゼンテーションも簡潔かつ論理的で質疑応答も的確であり、業務理解度の高さが認められ、評価点は配点の60%を上回った。

各委員からは、今回の基本計画策定及び環境影響評価にあたっては、より良い施設の建設に向けて事業者と協議を深めながら進めていく事を期待する。また民間事業者との新しい連携の形をはじめ様々な提案をいただいた事から、関係機関とも様々協議を深めながら議論を深めていただきたいという意見があり、また、建築に当たっては市民の方の不安を解消するように進めると共に、ごみ処理自体は止めることができないものであり、持続可能な取り組みとしてよい提案を受けながらより良い施設が建設できるよう、期待する。

最後に、今回、優先交渉権者に特定された事業者には、業務の実施について組合と十分な協議を行い、今回の審査に携わった委員の意見を反映し、質の高い業務を確実に実行していただくよう、申し添える。

以上